

各位

2016年1月14日
株式会社マネーフォワード

1,284名に実施、経費精算に関するアンケート調査
毎月平均19件、1時間以上かかる経費精算の実態が浮き彫りに
～約4人に3人が「わずらわしい」と回答、毎月の自己負担額はなんと6,447円～

お金のプラットフォームを提供する株式会社マネーフォワード(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 辻庸介、以下マネーフォワード)は、『MFクラウド会計・確定申告』『MFクラウド請求書』『MFクラウド給与』及び自動家計簿・資産管理サービス『マネーフォワード』ユーザー男女1,284名を対象に、「経費精算に関するアンケート調査」を実施しました。また本結果を受けて、マネーフォワードは、経費精算の面倒な作業を従来の約10分の1で完了させることができる、クラウド型の経費精算・経費管理サービス『MFクラウド経費』を開発し、2016年1月14日より提供開始いたします。

【調査結果トピックス】

1. 経費申請は月に一回が主流、最も多い申請対象は「交通費（公共交通機関）」

約4割の人が経費申請の頻度を「月に一回」と回答し、経費申請をする対象として、「交通費（公共交通機関）」「備品・消耗品費」「宿泊費」の順に多いことがわかりました。

2. 4人に3人は「経費精算はわずらわしい」と回答、理由として「レシートや領収書の手入力」が1位

74%の人が「経費精算はわずらわしい」と回答し、「レシートや領収書の手入力」「レシートや領収書の保管・管理や貼付作業」「訪問先の経路や料金の検索」が理由としてトップ3に挙げられました。

3. 経費申請は、従業員30名までの規模だと手書き約2割、31～100名規模だとエクセルが半数

経費申請の方法は、規模により異なる結果となりました。従業員50名未満の企業では手書きやエクセルの利用率が高く、31～50名でエクセル利用がピークになりました。

4. 領収書・レシートは「台紙に貼って提出」、交通費は「経費精算時に経路と料金を調べる」が主流

7割以上の人が、提出方法について「領収書・レシートは台紙に貼って提出している」と回答しました。また、交通費の申請方法については、「経費精算時に、訪問先の経路と料金を1つずつ調べている」「毎回外出時に、訪問先の経路と料金を記録している」「切符を購入し、領収書を発行している」がトップ3の回答となりました。

5. 一ヶ月あたりの申請数は月平均19件、申請にかかる時間は1時間以上、営業は申請のために残業も

一ヶ月あたりの経費申請数は、全体で月に平均19件、一方、経営者は全体よりも10件多い29件という結果になりました。申請にかかる時間は月平均66分という結果になりました。また、約8割の人が「業務時間内に申請を行っている。」と回答しましたが、営業職の人は約2割の人が「残業して行っている。」と回答しました。

6. 全体の約4割が毎月平均6,447円、経営者は約6割が10,526円を自己負担

全体の約4割、経営者の約6割が、経費申請をせずに自己負担することがあると回答しました。月の平均負担金額は、6,447円、経営者にいたっては1万円以上の負担をしていることが分かりました。

7. 経営者・経理担当が最もわずらわしいのは、「申請された経費をチェックする作業」

経費ソフトは「コスト」や「会計ソフト・給与ソフトとの連動」が導入の決め手

経営者・経理担当は、「申請された経費のチェック」「経費申請の回収作業」「誤った申請があった時の処理」などが最もわずらわしい作業として挙げられました。また、経費ソフトの決め手は、「コスト」「会計ソフト・給与ソフトとの連動」「画面の分かりやすさ」がトップ3を占めました。

8. 経費システムとの連携要望が多かったのは、「交通系電子マネー」や「会計ソフト」

経費システムと連携して欲しいサービスとして、「交通系電子マネー」「会計ソフト」「給与ソフト」『楽天トラベル』『Google カレンダー』などが上位を占めました。また、経営者・経理担当者は、「会計ソフト」「給与ソフト」が全体よりも上位にランクインしました。

9. 経費申請において工夫している点、エピソードの自由回答

1. 経費申請は月に一回が主流、最も多い申請対象は「交通費（公共交通機関）」

Q1. 経費申請をする頻度を教えてください。(n=1,284)

経費申請をする頻度は、約4割の人が「1か月に1回」と回答し、最も多い結果となりました。

■ 1週間に1回 ■ 半月に1回 ■ 1か月に1回 ■ 2か月に1回 ■ 3か月に1回 ■ 半年に1回 ■ 1年に1回 ■ その他



Q2. 経費申請をする対象は以下の何ですか？(n=4,731)

- 1位 交通費（公共交通機関）.....1,154 票
- 2位 備品・消耗品費.....680 票
- 3位 宿泊費.....583 票
- 4位 ガソリン代.....530 票
- 5位 接待交際費.....519 票
- 6位 会議費.....360 票
- 7位 通信費.....308 票
- 8位 租税公課（印紙・役所の手続きなど）...283 票
- 9位 配送運賃.....253 票
- 10位 その他.....61 票

経費申請をする項目として最も多かったのは、1,154 票を獲得した「交通費」という結果になりました。それに続き、「備品・消耗品費」、「宿泊費」「ガソリン代」という結果になりました。1 位の「交通費（公共交通機関）」や 4 位の「ガソリン代」などの旅費交通費は経費申請の対象として代表的であると言えます。また 3 位の「宿泊費」や 5 位の「接待交際費」6 位の「会議費」が多いことより、取引先との商談や会食も申請の項目として、メジャーであると考えられます。

2. 4人に3人は「経費精算はわずらわしい」と回答、理由として「レシートや領収書の手入力」が1位

Q3. 経費精算をわずらわしいと感じますか？(n=1,284)

■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない



約 4 人に 3 人の 74% の人が、経費精算を「わずらわしい」と回答しました。

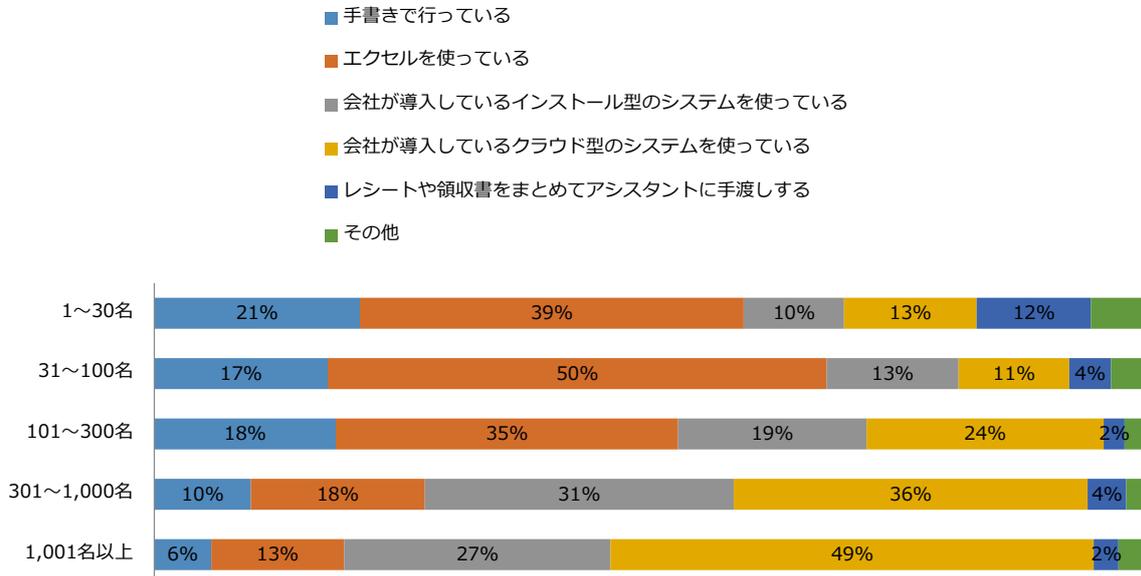
Q4. 「はい」と回答した方にお聞きします。わずらわしいと思う経費精算の作業をすべてお選びください。(n=3,448)

-  レシートや領収書の手入力.....707 票
-  レシートや領収書の保管・管理や貼付作業.....506 票
-  訪問先の経路や料金の検索.....498 票
- 4 位** 経費精算システムへの入力.....438 票
- 5 位** 訪問先を見直し、訪問先と経路を入力する作業.....252 票
- 6 位 ウェブ決裁した際の領収書の印刷.....218 票
- 7 位 承認作業.....217 票
- 8 位 目的や同伴者の記載.....198 票
- 9 位 海外出張時の通貨換算.....146 票
- 10 位 レシートや領収書をスキャンして保存する作業.....142 票

わずらわしいと思う経費精算の作業として、「**レシートや領収書を見ながらの手入力**」がダントツで多い 707 票の回答数となりました。誰もが経験したことがある作業だと思いますが、毎月月末の締切前に領収書を集めてエクセルや専用ソフトに入力している人が大多数であることが推測されます。また、「**レシートや領収書の保管・管理や貼付作業**」が 2 位の 506 票を集めました。宿泊時や接待時の領収書を経費精算まで失くさないように保管し、台紙などに貼り付ける作業がわずらわしいと感じる人が多いようです。3 位の「**訪問先の経路や料金の検索**」は 2 位にわずか及ばず 498 票の回答数となりました。こちらも経験者が多いと思いますが、訪問先が多い営業職などは特にわずらわしい作業であると言えるでしょう。5 位にも「**訪問先を見直し、訪問先と経路を入力する作業**」がランクインしています。その都度経路と料金を記録する人と、後でまとめて記録する人の 2 パターンが存在すると思われる。

3. 経費申請は、従業員30名までの規模だと手書き約2割、31~100名規模だとエクセルが半数

Q5. 現在勤務先の経費申請は、どのように行われていますか。(n=1,284)



勤務先の経費申請について、従業員規模別に分析した所、上記のような結果となりました。手書きは1~30名の規模で約2割を占め、最多の割合となりました。また、エクセル利用は31~100名でピークの5割を占める結果になっています。また、人数が増えれば増える程、インストール型及びクラウド型のシステムを導入している割合が高くなり、1~30名ではシステム導入率は23%（インストール型：10%、クラウド型13%）なのに対し、1,000名を超える企業では86%（インストール型：27%、クラウド型：49%）となりました。100名を超えるとクラウド型の導入がインストール型を上回っており、1,000名を超える企業では、約半数の49%がクラウド型システムを利用していることも特徴として挙げられます。

4. 領収書・レシートは「台紙に貼って提出」、交通費は「経費精算時に経路と料金を調べる」が主流

Q6. 領収書やレシートの提出は、どのように行われていますか？(n=1,284)

- すべて紙で、台紙に貼って提出
■ 一部紙で、一部は電子データで提出
■ 提出していない
■ その他
■ すべてスキャンまたは電子データで提出



領収書やレシートは「すべて紙で、台紙に貼って提出」している人が約4人に3人を占める結果となりました。領収書やレシートの提出はまだまだ電子化されておらず、アナログな方法がこれまで長い間続いていることが

推測されます。また、「Q4. わずらわしいと思う経費精算の作業をすべてお選びください」。の2位に「レシートや領収書の保管・管理や貼付作業」がランクインしていることから、提出作業の省力化が実現すれば経費申請のかなりの手間が省けると言えるでしょう。

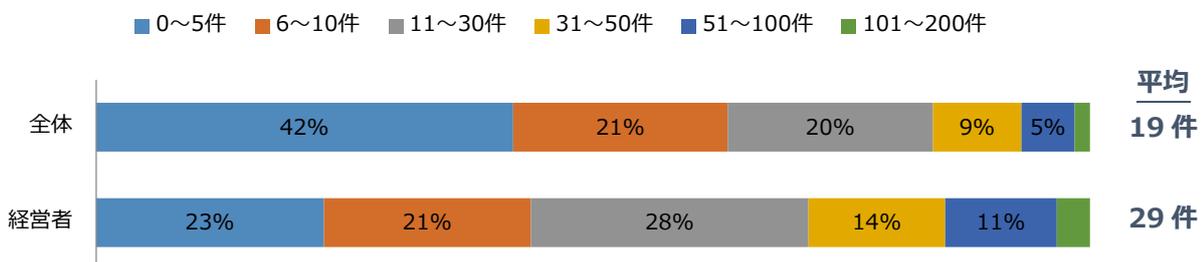
Q7. 電車代やバス代の経費申請はどのように行っていますか？当てはまる物すべてをお選びください。
 (n=1,633)

	経費精算時に、訪問先の経路と料金を1つずつ調べている.....	770 票
	毎回外出時に、訪問先の経路と料金を記録している.....	256 票
	切符を購入し、領収書を発行している.....	190 票
4 位	交通系電子マネー（Suica, Pasma など）を Felica リーダーに読み込ませている...	116 票
5 位	電車代・バス代の経費を申請していない.....	73 票
6 位	会社支給の交通系 IC カードがある.....	70 票
7 位	経費精算のアプリを利用している.....	63 票
8 位	概算で申請している.....	50 票
9 位	その他.....	36 票
10 位	マネーフォワードから CSV で出力している.....	9 票

電車代やバス代の経費申請について、「経費精算時に、訪問先までの経路と料金を1つずつ調べている」と回答した人が、2位の「毎回外出時に、訪問先までの経費と料金を記録している」を3倍以上引き離し770票を獲得しました。経費精算時に、「外出時にその都度マメに記録しておけばもっと楽なのに」と思った経験が誰しも1度はあると思いますが、仕事に集中しているとなかなか難しいようです。また、3位の「切符を購入し、領収書を発行している」も190票を集めました。私用の際は交通系電子マネーを利用し、経費精算が必要な分については切符を購入する、という風に行動を分けている人が多いことが読み取れます。

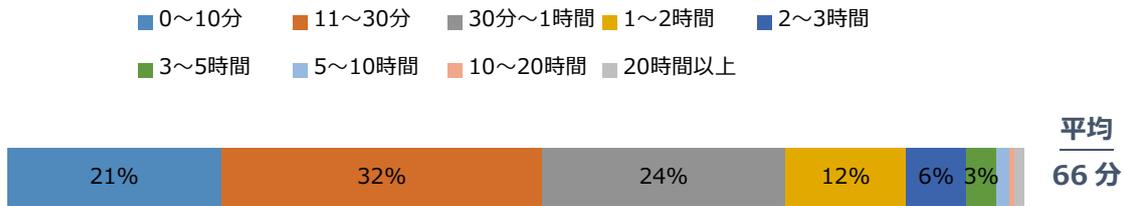
5. 一ヶ月あたりの申請数は月平均 19 件、申請にかかる時間は 1 時間以上、営業は申請のために残業

Q8. 一か月あたり何件位経費申請していますか？ (n=1,284)



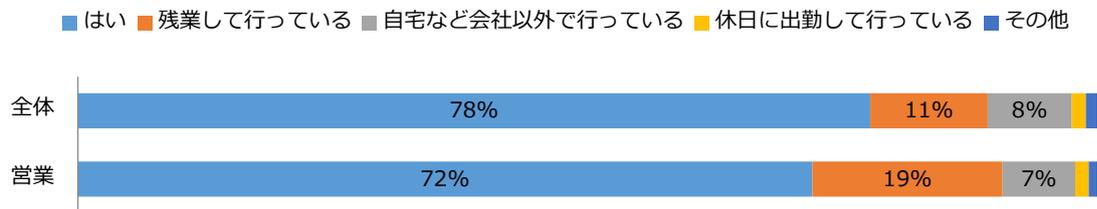
一か月あたりの経費申請の件数は、全体では5件以内と回答した人が4割を占め最も多く、平均すると19件という結果になりました。それに対して、経営者だけで抽出してみると、11~30件が28%と最多となり、平均値も全体よりも10件多い29件という結果になりました。経営者は交通費や備品・消耗品に加え、接待交際費や会議費、その他諸経費の支払いが従業員よりも10件程多いということを読み取ることができます。

Q9. 経費申請の業務にかかる時間は、一か月あたりどの位ですか？(n=1,284)



経費申請業務にかかる時間を質問した所、11~30分と回答した人が約3人に1人の32%で最多となりました。全体を平均すると66分という結果となり、平均すると毎月1時間以上経費精算に費やしている結果となりました。

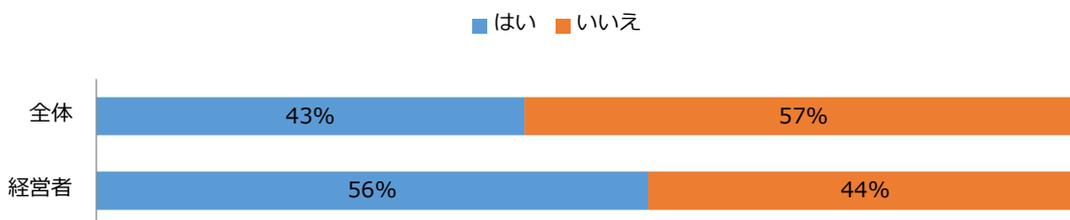
Q10. 経費申請は、業務時間中に行っていますか？(全体 n=1,284、営業 n=225)



「経費申請は、業務時間中に行っていますか？」という質問に対して、全体では78%の人が「はい」と回答しました。それに対して営業職のみを抽出した結果、「はい」と回答した人は6%少ない72%にとどまり、「残業して行っている」と回答した人が全体よりも8%多い19%を占めました。営業職の約5人に1人は、経費精算のために残業をしていることとなります。外出が多く社内にいる時間が少ない、忙しい、などが理由として考えられます。

6. 全体の約4割が毎月平均6,447円、経営者は約6割が10,526円を自己負担

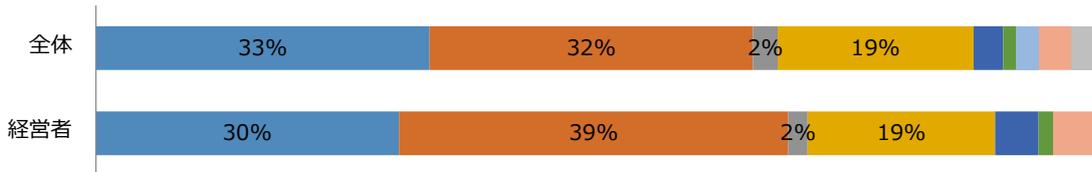
Q11. 経費申請をせず、ご自身で負担することはありますか？(全体 n=1,284、経営者 n=420)



「経費申請をせず、自身で負担することがある」人は、全体で43%、経営者は半数以上の56%という結果となりました。

Q12. 「はい」と回答した方にお聞きします。申請しない理由は何ですか？当てはまる物をすべてお選びください。(全体 n=1,284、経営者 n=420)

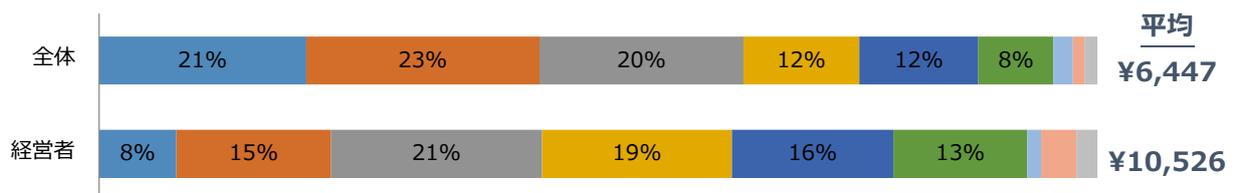
- 経費申請の作業が面倒だから
- 申請する程の金額ではないと思うから
- 申請を禁止されているため
- 申請を忘れてしまう・洩れてしまうから
- 経費について、特に気にしていないため
- 残業や休日出勤して行く必要があるから
- 会社でしか作業ができないため
- 特にない
- その他



経費申請をせず、自身で負担する理由を質問した所、全体では約 3 分の 1 の方から「経費申請の作業が面倒だから」及び「申請する程の金額ではないと思うから」という回答が得られました。それに対して、経営者では、「申請する程の金額ではないと思うから」が約 4 割で最多の回答となりました。経営者は申請件数も多いため、少額の申請は自身で負担する傾向があるようです。

Q13. 「はい」と回答した方にお聞きします。負担額は月平均いくら位ですか？(全体 n=1,284、経営者 n=420)

- 0~500円
- 501~1,000円
- 1,001~3,000円
- 3,001~5,000円
- 5,001~10,000円
- 10,001~30,000円
- 30,001~50,000円
- 50,001~100,000円
- 100,001~



負担額の月平均は、全体の約 5 人に 1 人が「0~500円」「501~1,000円」「1,001~3,000円」と回答しました。それに対して、経営者では「0~500円」や「501~1,000円」が全体と比較して低く、「5,000~10,000円」という回答が全体よりも 4%多い 16%を占めました。経営者は、他の人と比較して申請件数も自己負担金額も大きい傾向にあります。

**7. 経営者・経理担当が最もわずらわしいのは、「申請された経費をチェックする作業」
経費システムは「コスト」や「会計ソフト・給与ソフトとの連動」が導入の決め手**

Q14. 経営者または経理の立場から、経費精算においてわずらわしいと思う作業をすべてお選びください。

(n=936)

-  **1位** 申請された経費をチェックする作業.....232 票
-  **2位** 経費申請の回収作業.....163 票
-  **3位** 誤った申請があった時の処理.....151 票
- 4位** 給与ソフトや会計ソフトへの入力作業.....149 票
- 5位** 社内のオペレーション設計やルール設定.....94 票

経営者や経理担当がわずらわしいと思う作業の1位は、232票獲得した「申請された経費をチェックする作業」という結果になりました。また、2位の「経費申請の回収作業」が163票でランクインし、チェックのみならず、回収の段階からわずらわしいと感じている人が多いようです。また、3位の「誤った申請があった時の処理」の151票に続いて「給与ソフトや会計ソフトへの入力作業」が僅差の149票でランクインしました。

Q15. 経営者または経理の立場から、経費精算ソフトの導入の決め手を教えて下さい。

当てはまる物すべてをお選びください。(n=1,177)

-  **1位** コスト.....274 票
-  **2位** 会計ソフト・給与ソフトとの連動.....199 票
-  **3位** 画面の分かりやすさ.....191 票
- 4位** ペーパーレスで完結.....155 票
- 5位** 領収書やレシートを写真撮影して保管が出来る....125 票

経営者や経理担当の人に、経費精算ソフトの導入の決め手を質問した所、1位は「コスト」で274票、2位は「会計ソフト・給与ソフトとの連動」で199票、3位は「画面の分かりやすさ」で191票という結果になりました。Q14のわずらわしいと思う作業の4位に「会計ソフト・給与ソフトへの入力」とあるように、会計ソフトや給与ソフトへの連動は経費精算ソフトにおいて、非常に重要であることがうかがえます。また、4位の「ペーパーレスで完結」（155票）や5位の「領収書やレシートを写真撮影して保管ができる」（125票）については、2016年の電子帳簿保存法の要件緩和の動き*に向けて、今後ますますニーズが高まる機能であると考えられます

*経費精算のために会社員が集めるタクシー代や会食費などの領収書について、企業の保管義務を2016年9月末から緩和する。領収書は税務調査の証拠となるため、原則7年間、保管しなければいけない。16年9月末からはスマートフォン（スマホ）やデジタルカメラで撮影した電子データがあれば破棄を認める。（平成27年12月10日、自由民主党『平成28年税制改正大綱（案）』より）

8. 経費システムとの連携要望が多かったのは、「交通系電子マネー」や「会計ソフト」

Q16. 経費システムと連携して欲しいサービスをすべてお選びください。

(全体 n=2,608、経営者・経理 n=975)

全体

経営者・経理

1位	交通系電子マネー (Suica や Pasma など) ..693 票
2位	会計ソフト.....338 票
3位	自動家計簿「マネーフォワード」260 票
4位	Google カレンダー.....188 票
5位	給与計算ソフト.....180 票
6位	楽天トラベル (楽天)146 票
7位	じゃらん (リクルートライフスタイル)90 票
8位	名刺管理アプリ「Eight」(Sansan 株式会社) ..87 票
9位	日本交通タクシー配車アプリ.....59 票
10位	kintone (サイボウズ)41 票

1位	会計ソフト.....232 票
2位	交通系電子マネー (Suica や Pasma など) ..213 票
3位	給与計算ソフト.....100 票
4位	自動家計簿「マネーフォワード」93 票
5位	Google カレンダー.....62 票
6位	楽天トラベル (楽天)37 票
7位	名刺管理アプリ「Eight」(Sansan 株式会社) 36 票
8位	kintone (サイボウズ)23 票
9位	じゃらん (リクルートライフスタイル)21 票
10位	日本交通タクシー配車アプリ.....20 票

経費システムと連携して欲しいサービスについて質問した所、全体ではダントツで「交通系電子マネー (Suica や Pasma など)」が 1 位となり、2 位の「会計ソフト」を 2 倍以上離し 693 票を獲得しました。それに対して、経営者・経理担当者では、213 票の交通系電子マネーをわずかに上回り、会計ソフトが 232 票を獲得し、1 位になりました。さらに、3 位には給与計算ソフトもランクインしており、普段の業務の効率化を望む声が反映された結果となりました。全体的に、カレンダーや名刺管理アプリ、『楽天トラベル』や『じゃらん』などの旅行サイト、タクシー配車アプリなど、様々なサービスとの連携が期待されている結果となりました。

9. 経費申請において工夫している点、エピソードの自由回答

Q17. 経費申請において、工夫している点があれば教えてください。(自由回答)

<とにかく溜めず、こまめに記録派>

- ・こまめにエクセルにいれている
- ・ためないように毎回記入して月末請求するようにしています
- ・Google カレンダーに実績を入れてまとめて登録している、
- ・週に一度は交通費の提出をするよう決める
- ・電車代は移動中にアプリで入力する

<クレジットカードとことん活用派>

- ・なるべく紙を無くし、クレジットカードや銀行引き落としなどデータ化しやすい方法にしている
- ・クレジットカードを多用する。利用している銀行口座やカード類は連動会計ソフト側に連動させているためイレギュラーな申請以外は知識が無くても割りとスムーズに月 1 頻度で対応できている。
- ・クレジットカード払いをし、後で Web 領収書を印字できるサービスを優先して使っている

<本件に関するお問い合わせ先> 株式会社マネーフォワード 広報担当：柏木、青木

Tel : 03-6453-9160 E-mail : corp@moneyforward.com

<電子マネー活用派>

- ・PASMO の履歴は、最寄駅だと 20 件しか出ないが、都営新宿線だと 100 件まで一度に出せるので、打ち合わせなどで新宿に行ったときにまとめて記録しておくようにしている
- ・関東だと切符を買う時と電子マネーを使う場合で金額が変わる場合があるので、交通系電子マネーの読み取りアプリを使っている
- ・felica リーダーに電子マネーを読み込ませている
- ・スイカにて履歴を券売機から出している。ただ、20 件くらいしかでないのて超えた分は不明で結局自分で調べる、

<テンプレート作成派>

- ・yahoo 路線情報を使って経路を検索して出張し、その時の検索条件を記憶させて後日精算時にその経路情報と金額を転記する
- ・電車に関しては、よく使う路線の金額を暗記している
- ・過去申請のテンプレート利用
- ・複雑な経費がかかる行動をしない

<自動家計簿『マネーフォワード』の活用派>

- ・Edy やクレジットカードをマネーフォワードに連携させて、支払いは極力それらを使用している
- ・マネーフォワードで精算分は支払時に立替で記録し、それをまとめてエクセルに転記
- ・Suica とマネーフォワードを連携させて経費精算システムで履歴書を確認して入力

Q18. 経費申請にまつわるエピソードがあれば、教えて下さい。(自由回答)

<クレジットカードの利用金額が限度額上限に…>

- ・立替がカード上限を超えて止められて、個人で使用したいときに使用できなかった
- ・出張で日本全国を周り、40 連泊、飛行機 20 便、新幹線 20 本使用し、クレジットカード上限になり支払えなくなりそうになった
- ・立て替え経費が多すぎて振り込み日までカード決済が間に合わず、一時的にキャッシングした

<出張立て替えでポイントを GET ! >

- ・長期出張をカード払いしたらポイントがとても儲かった
- ・高額の支払いを立て替えてポイントを取得
- ・経費分をクレジット決済して精算するので現金支給されるとポイント分が余分にもらえ、そこそこのお駄賃になる。

<自腹で支払い…>

- ・自身のスイカカードにて経費精算した際、オートチャージなので精算をやらなかつたら半年で 10 万以上立て替えていた
- ・日当や交通費を少なく精算してしまい、そのままの金額で再請求できなくなって自腹
- ・出張（取材）で使った飛行機代を、経費申請するのを忘れたまま年を越してしまい、後からいったが受けてもらえずギランティよりも高い経費を自腹で払う羽目になってしまった。しかも自腹で行くなら安い飛行機を使うが、会社からだったので先方から定価で抑えられており、ふんだりけったり
- ・最短経路でない移動に関して、自分で負担することが時々ある
- ・領収書、経費申請をし忘れたものがあり、会社請求のタイミングを外したため自己負担となった。

<高額の出張費>

- ・月の出張費で100万円の立て替えがあり、上司の承認がなかなか来ずカードの支払いが滞りそうになった
- ・海外出張が続き、3ヶ月くらい50万円以上、多い時で80万円超の建て替えが発生した
- ・海外出張の清算が3ヶ月かかるので、連続で行くと100万円を超えて血の気が引く、

<海外出張時の為替問題>

- ・海外出張の精算時、当時のレートによって金額が変わるので、申請者と経理での算出された金額がかなり違った
- ・申請時の為替レートで経費申請したら、使用時の為替レートよりも高く、多めにもらってしまった。

<領収書紛失事件>

- ・領収書をなくして清算できなかった
- ・ワイシャツを洗った後、胸ポケットにたぶん領収書だと思われる紙の塊が残っていたりすることが多々ある。どれほど、会社に奉仕しているかわからないところもある
- ・新幹線の領収書を紛失

<申請・承認時のトラブル>

- ・業務多忙で申請を失念し、申請可能な期間が過ぎて申請出来なかった
- ・上長の承認が遅く、期限切れ
- ・月をまたいで申請ができないので、月末月初の曜日の関係や実務が忙しいとそれを優先してしまい締め切りに間に合わない時などがある
- ・経費精算のファイルを作ったのに、申請し忘れ数万円が自己負担に

<とにかく面倒！>

- ・最近まで社長の経費も代理で行っており、出張や外出、会食などが多く、毎月、レシートの整理から始まり、入力、経費が否かの判別、誰と何に使ったものなのかの予測、タクシー代はどの乗車区間か予測、カレンダーから電車代を計算、最後にレシートの糊付けをしていました。5時間以上かかっていました。用途を裏に記載するように言ってもなかなかしてくれず、探偵力が上がりました（経理担当）
- ・首都圏の鉄道・バスの運賃が1円単位になったことで、交通費の計算がたいへん面倒くさくなった
- ・実際のルートで往訪したのかわからなくなるときがある
- ・電話代の請求、携帯電話の明細を取り寄せて、番号毎に申請の必要があり面倒でいつもやってない
- ・タクシー清算は5000円以上になると理由を書かされるので、面倒で精算をしない時がある。
- ・申請してから2段階上司の承認を得なければならないので、振り込まれるまで時間がかかるし、不備があれば再提出でさらに時間がかかり、もういやとなってしまふ

■調査概要

調査期間：2015年11月14日（金）～11月17日（火）

調査対象：『MFクラウド会計・確定申告』『MFクラウド請求書』『MFクラウド給与』及び
自動家計簿・資産管理サービス『マネーフォワード』ユーザー男女1,284名

調査方法：インターネットを利用したアンケート調査

◆◆経費精算システム『MF クラウド経費』(β版)の概要◆◆

面倒な経費に関する作業を従来の約 10 分の 1^{*}で完了させることができる、クラウド型の経費精算・経費管理サービスです。中小企業の経営者や経理等のご担当者、確定申告の準備中の方から経費精算申請をするビジネスマンまで、経費に関わる全ての方がご利用いただけます。

銀行、クレジットカード、電子マネー、交通系 IC カードなどでの入出金明細を自動取得し、経費システムに連動します。『マネーフォワード』や『MF クラウド会計・確定申告』など当社の提供するサービスとも連携しています。

URL : <https://biz.moneyforward.com/expense>

料金 : 無料(β版期間中)

開始日 : 2016 年 1 月 14 日

特徴 : 【従業員】スマートフォンだけで経費精算・申請が可能

- ・クレジットカードや電子マネーなどの明細から経費を登録可能。
- ・『IC カードリーダー by マネーフォワード』で Suica や Pasma の明細もワンタッチで取込可能
- ・科目は自動学習機能で自動分類
- ・経路を入力するだけで、交通費の自動算出が可能
- ・自動家計簿『マネーフォワード』と自動連携し、経費を家計簿から除くことも可能
- ・経費申請・承認のワークフローもスマートフォンで完結

【経理担当者】経費に関する承認・処理業務を効率化

- ・ご利用の会計システムに対応した一括取込可能な仕訳データを作成可能
- ・『MF クラウド会計・確定申告』と自動連携
- ・『MF クラウド給与』と自動連携 (2016 年冬予定)
- ・申請された経費データと添付された領収書の照合がオンライン上で可能
- ・電子帳簿保存法にも対応予定

■ 株式会社マネーフォワードについて

マネーフォワードは、個人・法人向けにお金に関する課題を解決するプラットフォームを提供しています。2012 年 5 月に設立以来、自動家計簿・資産管理サービス『マネーフォワード』やビジネス向けクラウドサービス『MF クラウドシリーズ』、お金に関するウェブメディアなどを展開しており、国内 No1 の Fintech ベンチャーとして注目いただいています。

«提供サービス一覧»

- ・自動家計簿・資産管理サービス『マネーフォワード』

WEB <https://moneyforward.com/>

iPhone,iPad <https://itunes.apple.com/jp/app/id594145971>

Android <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.moneyforward.android.app>

- ・ビジネス向けクラウドサービス『MF クラウドシリーズ』

<本件に関するお問い合わせ先> 株式会社マネーフォワード 広報担当 : 柏木、青木

Tel : 03-6453-9160 E-mail : corp@moneyforward.com

確定申告ソフト『MF クラウド確定申告』 https://biz.moneyforward.com/tax_return

会計ソフト『MF クラウド会計』 <https://biz.moneyforward.com/>

請求書作成ソフト『MF クラウド請求書』 <https://invoice.moneyforward.com>

入金消込ソフト『MF クラウド消込』 <https://biz.moneyforward.com/reconciliation>

給与計算ソフト『MF クラウド給与』 <https://biz.moneyforward.com/payroll>

マイナンバー管理ソフト『MF クラウドマイナンバー』 <https://biz.moneyforward.com/mynumber>

経費精算システム『MF クラウド経費』(事前登録受付中) <https://biz.moneyforward.com/expen>

・ お金に関する正しい知識やお得な情報を発信するウェブメディア

『マネトク!』 <https://moneyforward.com/media/>

《主な受賞歴》

2014年1月ケネディ駐日米大使より「将来を担う起業家」として米国大使館賞受賞。

同年2月ジャパンベンチャーアワード2014にて「起業を目指す者の模範」としてJVA審査委員長賞受賞。

同年3月電通国際情報サービス主催の金融イノベーションカンファレンスFIBC2014にて優勝、大賞を受賞。

同年10月「マネーフォワード」と「MFクラウドシリーズ」でグッドデザイン賞をW受賞。

同年12月NTTデータ主催ビジネスコンテスト「豊洲の港から」で最優秀賞受賞。

2014年・2015年「Google Play ベストアプリ」2年連続受賞(2013年は入賞)。